2　地理歴史・公民

学校番号	１００９

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ（前期）	単位数	２単位	年次	２年前期
使用教科書	詳説日本史Ｂ　（山川出版社）						
副教材等	図説日本史通覧　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じ、現在の日本にいたるまでを理解する。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・２年前期では、原始・古代・中世を中心に学ぶ。（中世・近世は２年後期）また、２年前期の主題学習では、夏期休暇期間も利用しつつアクティブラーニング形式で近代史を扱う。（現代史は２年後期）
・受験科目で日本史Ｂを選択する者や日本史の理解を深めたい者は、３年前期の「近現代日本史」を履修すること。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・日本の歴史を地理的条件や日本の文化と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って、追究している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、世界史的視野に立って追究し考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を、世界史的な視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート 探求調査発表	〔主題学習〕 レポート 探求調査発表	〔主題学習〕 レポート 探求調査発表	〔主題学習〕 内容のまとまり ワークシート
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間考査まで	日本文化のあけぼの	1.文化の始まり 2.農耕社会の成立 3.古墳とヤマト政権	○ ○ 	 ○ 	 ○	○ ○	a:旧石器時代から古墳時代の人々の生活や社会、文化に対する関心と課題意識を高め、追究している。 b:旧石器時代から古墳時代の人々の生活や社会、文化から課題を見いだし、自然環境や大陸からの文化の影響と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:旧石器時代から古墳時代に関する遺物や写真等の諸資料を活用することを通して、人々の生活について追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d:設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	律令国家の形成	1.飛鳥の朝廷 2.律令国家への道 3.平城京の時代 4.天平文化 5.平安王朝の形成	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○	a:ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、追究している。 b:ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、国家形成と律令体制の確立過程、東アジア世界との交流などと関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:ヤマト政権による統一から奈良時代までの社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、国家形成と律令体制の確立過程、東アジア世界との交流などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート

補充授業期間・夏期休暇期間	日本の近代史(主題学習)	①近代国家の成立 1.開国と幕末の動乱 2.明治維新と富国強兵 3.立憲国家の成立と日清戦争 4.日露戦争と国際関係 5.近代産業の発展 6.近代文化の発達 ②二つの世界大戦とアジア 1.第一次世界大戦と日本 2.ワシントン体制 3.市民生活の変容と大衆文化 4.恐慌の時代 5.軍部の台頭 6.第二次世界大戦	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:世界史的視野を意識しながら、日本の近代史について、自分自身で課題の発見・設定ができている。また、日本の近代史への関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:世界史的視野を意識しながら、日本の近代史について、課題を見いだし、多面的多角的に考察している。また、他人にわかりやすく伝わることを意識した、レポート作成・探求調査発表を行えている。 c:日本の近代史に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けている。また、その追究し考察した結果を適切にレポート・探求調査発表に表現している。 d:日本の近代史に関する基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。また、その知識をワークシートや振り返りシートでアウトプットできている。	ワークシート レポート 探求調査発表 振り返りシート

※以上の主題学習を、左の期間で行う。
（後期は１２月・冬期休暇期間・１月に実施。）

夏期休暇を含めた探求調査を行った後は、授業においてレポート発表を行い、議論を深める。

前期期末考査まで	貴族政治と国風文化	1.摂関政治 2.国風文化 3.地方政治の展開と武士	○ ○	○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:平安時代の社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:平安時代の社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、東アジア世界との関係の変化、地方における支配体制の動揺などと関連付けて、多面的多角的に考察している。 c:平安時代の社会の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:平安時代の社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係の変化、地方における支配体制の動揺などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	中世社会の成立	1.院政と平氏の台頭 2.鎌倉幕府の成立 3.武士の社会 4.蒙古襲来と幕府の衰退 5.鎌倉文化	○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:公領の変質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:公領の変質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化から課題を見いだし、公家政権・公家文化と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:公領の変質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化に関する文献、絵画、建築などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:公領の変質と荘園の拡大、武士の台頭と院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・進展・衰退、鎌倉武士と農村、鎌倉文化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。